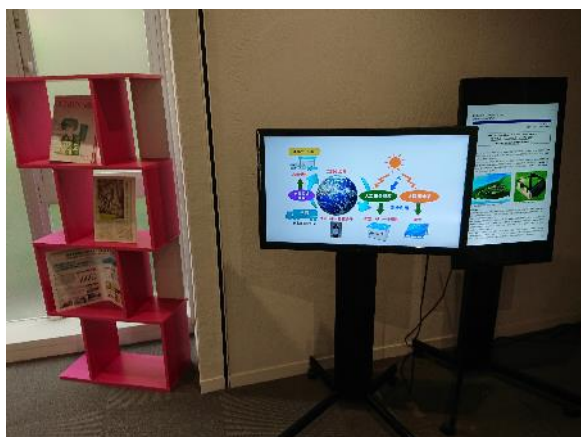


大阪府立大学「人工光合成研究拠点」の紹介 DVD ができました

幅広く人工光合成研究センターを知っていただくために紹介 DVD（日本語・英語版）があります。今回のニュースレターでは、その内容について一部紹介します。

大阪府立大学は都市のみならず国際的な環境問題の解決および新エネルギーの創出に係る研究を重点研究課題の一つとして挙げており、太陽光エネルギーから燃料を作り出すための人工光合成研究に関しては、これまでに、国内外においてトップレベルの研究成果をあげてきました。これらの成果を社会に還元する目的で、人工光合成研究センターは2013年6月18日に太陽光エネルギーを利用した燃料生産等を実用化するための産学連携研究拠点として開所しました。



人工光合成センター紹介 DVD パネル

人工光合成研究センターは国内唯一「人工光合成」と名のつく建物設備を伴う研究センターです。センター内には化学実験室、生化学実験室、低温実験室を完備しています。さらに高度分析装置も備わっており、分子の重さを精密に測る質量分析装置、分子の構造を決定する核磁気共鳴装置、分子やタンパク質の立体的構造を決める X 線結晶構造解析装置があります。また人工光合成技術で得られた燃料分子を測るためのガスクロマトグラフやイオンクロマトグラフ等も完備しています。人工光合成技術を実用化するための研究例として、藍藻を用いた大型ソーラー水素製造技術や室内で効率的に太陽光を利用するための光ダクト装

置も備えています。尚、紹介 DVD は拠点ホームページ（<http://recap.osaka-cu.ac.jp/ap-coe/index.html>）からもご覧になれます。



質量分析装置

本センターは、2016年4月から「人工光合成研究拠点」として、文部科学省から共同利用共同研究拠点に認定され、学術的研究についても最先端の人工光合成研究を進めています。学内外の研究者と広く共同研究を実施するばかりでなく、人工光合成技術の実用化を目指し産学連携で日々研究にも取り組んでいます。国内のみならず国際的な人工光合成研究拠点としての研究開発の深化・発展に貢献できるよう、これからも益々活動していきます。



人工光合成研究拠点 ニュースレター

第4巻・第3号 2019年6月26日発行

発行責任者：天尾 豊（大阪府立大学人工光合成研究センター所長）

編集責任者：吉田朋子（同副所長）

<http://recap.osaka-cu.ac.jp/ap-coe/index.html>